

つくぞ 食べるぞ カもち！

鷹巣地区で第9回もちつき大会

1月20日、鷹巣自治会青年部「たかのすはっぴ会」(森岡孝一会長)主催の「もちつき大会」が、同地区内の観音寺で開催されました。9回目を迎えたこの行事には、子どもから大人まで約150人が参加。子どもたちが元気にもちをついたほか、「昔の風習を受け継いでいきたい」と、大人も子どもと一緒に、お手玉やあやとり、たこ上げなどを楽しみました。佐藤昭自治会長は、「みんなで育む地域の絆を合言葉に、こうした催しを続けていくことで、世代を超えたつながりをこれからも深めていきたいです」と、話してくれました。



1・2_たこ上げやもちつきを楽しむ子どもたち

雪の上で元気に、「取ったぞ〜！」

白川小学校で第36回動くジャンボカルタ取り大会

1月24日、白川小学校の新春恒例行事「動くジャンボカルタ取り大会」が開催されました。36回目を迎えた今年も、全児童60人と来年度に同小に入学予定の園児たちが参加。縦割りりで4チームに分かれ、絵札の獲得枚数や絵札の出来栄などで得点を競いました。絵札も読み札も児童たちの手作りで、今年のテーマは「動物」。「子犬はね ゆきのなかを かけまわる」などと札が読まれると、25m四方の競技場の中を、縦約50cm、横約40cmの絵札を背負って逃げ回る児童を違う学年の児童が追い掛け、真剣勝負を繰り返していました。



▲絵札までもう少し！ 雪でも氷点下でも元気に駆け回る児童たち

昔遊びにみんな笑顔 「できた〜！」「楽しい〜！」

第二幼稚園と北保育園で昔遊びの会

昔ながらの遊びを通して、子どもたちと地域の高齢者の交流を図ろうと、「昔遊びの会」が第二幼稚園と北保育園で行われました。

1月23日は南町の「ボランティアみなみの会」(佐竹達雄会長)の17人が、第二幼稚園の3歳〜5歳の園児114人に、また、1月29日は北保育園の近くに住む「白石市更正保護女性会福岡支部」の10人が、北保育園の3歳〜5歳の園児38人に、各施設で昔遊びを指導しました。

第二幼稚園では、園児たちがお手玉やカルタとり、大縄飛び、あやとり、はねつき、折り紙、こままわし、ま

りつき、ポックリに挑戦。北保育園では、園児たちがお手玉やカルタとり、あやとり、風船羽根つき、ふくわらい、ペットボトルボウリングに挑戦しました。

参加した園児は「したことがない遊びが多く、とても楽しかったです」と笑顔を見せ、指導に当たった会員たちも「童心に帰って触れ合うことができました」と目を輝かせていました。

昔遊び会の開催は、第二幼稚園は23回目で、北保育園は2回目。各施設ともに、楽しい遊びや楽しい会話で世代を超えた交流を深め、笑顔があふれていました。



1・2_お手玉やポックリに挑戦する園児たち(第二幼稚園) 3_ふくわらいを楽しむ園児たち(北保育園)

「不思議と思う心」を大事にして、「科学する心」を育てほしい

ソニー教育財団募集論文でひかり幼稚園と白石第一小学校の活動が奨励賞を受賞



1_伊藤執行役員から記念品を受け取る高原亜実ちゃんと茂林健太くん 2_伊藤執行役員から記念品を受け取る伊東春希くん 3_児童を代表してあいさつする林美羽さん。「理科の授業が大好き。夜空の観察がしたいです」と伊藤執行役員などを前にこれからの抱負を話した

(公財)ソニー教育財団(中鉢良治会長)が主催する、2012年度ソニー幼児教育支援プログラム(幼稚園・保育所対象)・子ども科学教育プログラム(小中学校対象)の奨励賞・奨励校に、ひかり幼稚園と白石第一小学校の活動論文が選ばれ、1月29日、ソニーセミコンダクタ(株)の伊藤弘悦執行役員白石蔵王T E Cプレジデントが賞状や記念品などを贈呈しました。

ひかり幼稚園には、賞状と助成金5万円、ソニー製CDラジカセ・デジタルカメラを贈呈。代表で受け取った高原亜実ちゃんと茂林健太くんは、「これからも、不思議だな

と思うことをいっぱい見つけて友達と仲良く遊びます」とお礼の言葉を述べ、園児約50人が復興支援ソング「花は咲く」を歌い感謝の気持ちを伝えました。また、白石第一小学校には、賞状と助成金10万円、デジタルカメラ2台を贈呈。代表で受け取った伊東春希くんが「今後の理科の勉強で使わせていただきます」とお礼の言葉を述べました。

同財団では、「科学する心」を育む教育実践と計画をまとめた論文を毎年度募集。本年度は、全国の小中学校から199件、幼稚園・保育所などから87件の応募があり、県内では本市がそれぞれ唯一の受賞となりました。

異種競技で楽しく交流

第22回白石市スポーツ少年団交流大会



▲団体対抗戦で優勝した大平レインボーの大縄跳び

2月10日、「第22回白石市スポーツ少年団交流大会」がホワイトキューブで開催され、野球や柔道、空手道、剣道、ソフトテニス、ドッジボール、バレーボールの14チーム約200人が参加しました。大会は、越前少年野球クラブの石川和希くんの選手宣誓でスタート。ドッジビーと玉入れは団の枠を越えた混成チーム、大縄跳びとぞうきん掛けリレーは各団対抗で行われました。各団対抗の戦いは、大平レインボーと福岡Jrソフトテニスクラブが同点で並び、再度、ぞうきん掛けリレーで優勝決定戦を実施。大平レインボーが優勝を勝ち取りました。

自慢の力士で「はっけよい！」

放課後児童クラブ 紙相撲大会



▲大きな声援を背に、指先に力を込めて土俵をたたく児童

2月14日、第一児童館・白石第一小学校放課後児童クラブの「紙相撲大会」千秋楽が第一児童館で行われました。この大会は、室内遊びが多くなる冬の間、一人一人が工夫しながら遊べるようにと平成18年に始まり今年で7回目。手作りの力士にオリジナルの「しこ名」を付けて、直径22cmの土俵で競いました。大会は、1・2年生を幕下、3〜5年生を幕内に分けてクラブごとに実施。幕下は鈴木らんさんの「らん丸」と林樹莉さんの「ひよこ丸」、幕内は佐藤優理恵さんの「ゆり龍」と半沢直也くんの「なおや丸」がそれぞれ優勝しました。